

利用者の伴走者となれる支援を！ ～菊池洸志児童指導員～

【職員紹介】

菊池洸志 児童支援員

所属：福祉型障害児入所施設 たばしね学園

採用：平成31年度採用

出身校：名寄市立大学 社会福祉学部 社会福祉学科

仕事内容：利用者支援（中軽度棟） 等



【仕事について】

Q 利用者に関わる際に意識していることはありますか？

A 高校卒業後や中学校入学後（利用者の将来）を見据えての関わりです。子どもたちが自分の気持ちを言葉で伝えられるよう、人との関わり方について利用者の手本となれるよう意識しています。

Q 他の職員と連携をする際に心がけていることはありますか？

A 複数の職員が同じ方向性で支援を行うことです。職員でも考え方や支援方法は異なりますが統一性を持たせつつ、職員の個性を生かして役割分担をすることを心がけています。

【福祉について】

Q 支援者の立場として地域社会に求めることはありますか？

A 周囲の環境や社会資源には恵まれていると思います。施設がある環境も様々で、利用者にとっても個々に適した環境が異なります。社会資源の選択肢の多さや、地域の方の障害理解の有無で生活のしやすさが異なってくると考えます。

Q 実際に入職してみたのイメージの変化はありますか？

A 仕事自体は楽しいです。子どもの頃の経験は大人になっても影響を与えるため、支援する立場としての責任感を感じています。また頼りにされているのだと実感します。

【今後について】

Q 今後身に付けたい力や目指す職員像はありますか？

A 利用者から信頼される職員を目指したいです。また職員の焦りは利用者にも伝わってしまうので、動揺せずに落ち着いて支援が行えるようになりたいです。



利用者に寄り添った支援を大切に！ ～白戸日奈子児童指導員～

【職員紹介】

白戸日奈子 児童指導員

所属：福祉型障害児入所施設 たばしね学園

採用：令和2年度採用

出身校：岩手県立大学 社会福祉学部 人間福祉学科

仕事内容：利用者支援（重度棟） 等



【仕事について】

Q 自分らしさを支援にどのように生かしていますか？

A キャラクターが好きなのでキャラクターが付いているエプロンを着用しています。子どもたちにも人気があったり、初対面の利用者とも親しみやすくコミュニケーションツールとして活用しています。

Q 仕事を行っていてやりがいを感じるのどのような時ですか？

A 利用者の成長を見られる時です。また1つの行動に対しても何パターンものアプローチをすることで、利用者の意思決定の選択肢が広がり、どれか1つでもアプローチが成長につながった時にやりがいを感じます。

【福祉について】

Q 支援者の立場として地域社会に求めることはありますか？

A 地域住民の障害に対する理解は必要です。保護者の方も不安の中で生活をしており、誰もが安心して過ごせる社会が求められていると思います。地域の方の温かい目が支えになると思います。

Q 実際に入職してみたのイメージの変化はありますか？

A 元々は成人の障がいのある方に関心があったため児童という予想外の分野で働くことになり、これまで学んできたこととの違いに驚きました。児童への支援経験もこれまでではなかったため、手探りで学びと実践を行っています。見守りよりも関わりが多いと感じています。

【今後について】

Q 今後身に付けたい力や目指す職員像はありますか？

A 支援を行う際に複数のトラブルが同時に発生することがあります。その際に他の職員に役割分担をする力を身に付けるとともに、連携した支援を行うことや落ち着いて支援が行えるようになりたいです。